ＮＥＴＢＳｅｔ１　取扱説明書

２００３年１１月　１日
修正　２００８年　４月１７日

Ｖｅｒ　１．０４

タカヤ株式会社 ＲＦ事業推進部

＊＊＊　目次　＊＊＊

［１］概要

［２］ソフトの機能について

［３］設定項目について

［４］ＬＡＮ　Ｉ／Ｆ基板の概要

［５］各ダイアログについて
（１）メイン画面
（２）接続先のＩＰアドレス設定画面
（３）ネットワークのパラメータ設定画面
（４）設定方法

［６］注意事項

［７］補足説明

［１］概要

（１）適用範囲

本取扱い説明書は、ＮＥＴＢＳｅｔ１の機能について解説します。
尚、本ソフトは、ＬＡＮ　Ｉ／Ｆ基板(TR3-IF-N1)を内蔵した弊社ＴＲ３シリーズリーダー／ライター（以下Ｒ／Ｗとします)、または、ＬＡＮ　Ｉ／Ｆ基板(TR3-IF-N1)のネットワーク（ＩＰアドレスやポート番号）に関する設定に使用します。

（２）インストール

お客様は、ＴＲ３シリーズのＲ／Ｗの評価用に１台のコンピュータにのみ、本ソフトウェアをインストールし使用することが出来ます。弊社に許可なく第三者への販売、供与することは出来ません。

（３）複製

本ソフトウェアの複製は、バックアップ用のコーピーを除き、複製を行うことはできません。

（４）著作権

本ソフトウエアの著作権は、開発元である弊社に帰属するものとします。

（５）免責

弊社は、本ソフトウェアの使用または使用不可能から生じた損害（事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これらに限られないものとします）に関して、いっさい責任を負いません。
たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされた場合も同様とします。

（６）ソフト動作環境

動作ＯＳ　　：Ｗｉｎｄｏｗｓ　９８／２０００
Ｉ／Ｆ　　　：ＬＡＮ（ＴＣＰ/ＩＰ）　１０／１００ ＢＡＳＥ-Ｔ
・ハブ経由でPCと接続する場合　：ストレートケーブル
・PCと直接接続する場合　　　　：クロスケーブル

・Microsoft、Windows、Windows NTは、米国及びその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商
標または商標です。

（７）ソフト動作手順

ＴＲ３シリーズＲ／Ｗの接続準備
・アンテナ外付けタイプのＲ／Ｗの場合にのみ、アンテナは、Ｒ／Ｗの本体へ接続。※
・ＬＡＮケーブルは、HUB へ接続。（HUB 経由で上位ＰＣへＬＡＮ接続）

※Ｒ／Ｗ本体の故障の原因となる可能性がありますので、アンテナと本体の接続を確認後、本体の電源をＯＮしてください。

↓

Ｒ／Ｗの電源ＯＮ

↓

アプリケーションソフトを起動

↓

使用環境に合わせて、ネットワークのパラメーターを設定

↓

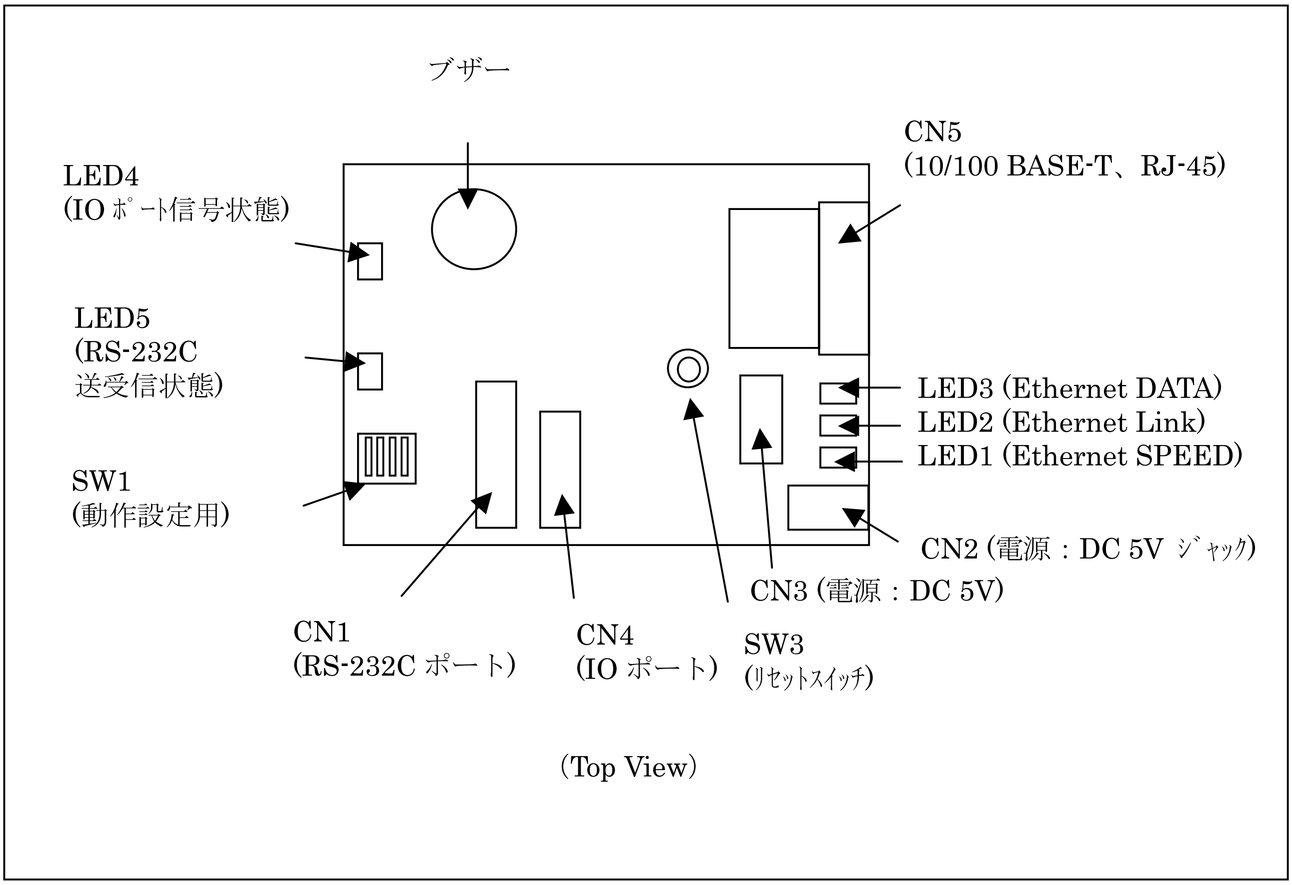
アプリケーションソフトを終了し、Ｒ／Ｗの電源ＯＦＦ

［２］ソフトの機能について
上位コンピューターは、「ＮＥＴＢＳｅｔ１」を使用してＴＥＬＮＥＴプロトコルによりＴＲ３シリーズＲ／Ｗのネットワークに関する設定を行う事が出来ます。

［３］設定項目について

１）ＭＡＣアドレス［表示のみ］	
２）Ｒ／Ｗ(LAN I/F 基板)のＩＰアドレス設定	(出荷時：10.16.77.170)
３）Ｒ／Ｗ(LAN I/F 基板)のポート番号設定	(出荷時：10777)
４）接続先のＩＰアドレス設定	(出荷時：10.16.77.171)
５）接続先のポート番号設定	(出荷時：3335)
６）ＩＰアドレスの有効マスクビット長設定	(出荷時：16)
７）接続先への自動接続モード設定	(出荷時：自動接続モード)
８）ＲＳ－２３２Ｃの通信ボーレート設定	(出荷時：19200bps)
９）ＲＳ－２３２ＣからＴＣＰＩＰへ変換する送信タイミング設定	(出荷時：10ms)
10) 無通信状態時のキープアライブ設定	(出荷時：ON)
11) キープアライブ有効時の無通信監視タイマ設定	(出荷時：1 分)

［４］ＬＡＮ Ｉ／Ｆ基板の概要
ＬＡＮ Ｉ／ＦタイプのＴＲ３シリーズＲ／Ｗは、ＬＡＮ Ｉ／Ｆ基板(TR3-IF-N1)を内蔵しています。
詳細は、「TR3-IF-N1 取扱説明書」を参照ください。



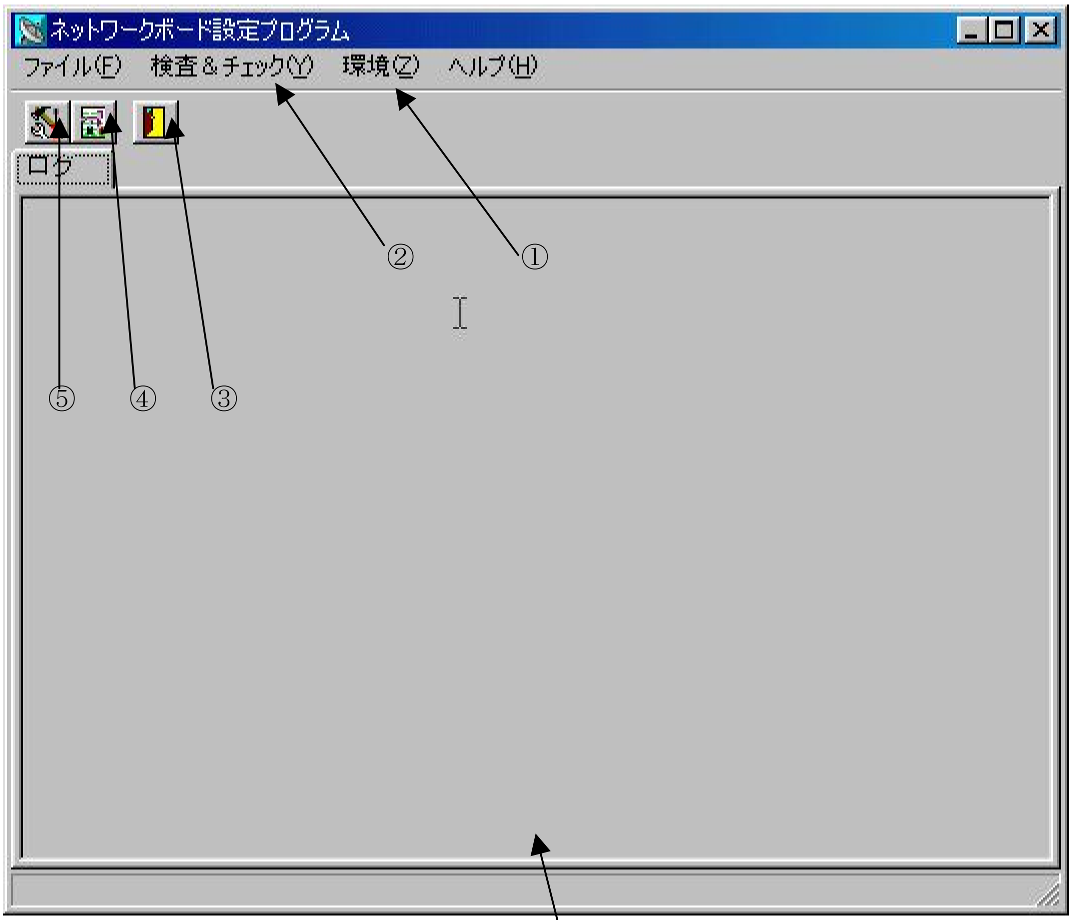
基板構成図

［５］各ダイアログについて

（１）メイン画面

以下が、メイン画面となります。

上位ＰＣから行うネットワークの設定は、ＴＥＬＮＥＴにより行います。



通信状況の履歴、結果を表示します。

①：接続先（ Ｒ／Ｗ（LAN I/F 基板） ）のＩＰアドレスの設定

④：同上

②：ネットワークのパラメータ設定

⑤：同上

③：アプリケーション終了

（２）接続先のＩＰアドレス設定画面

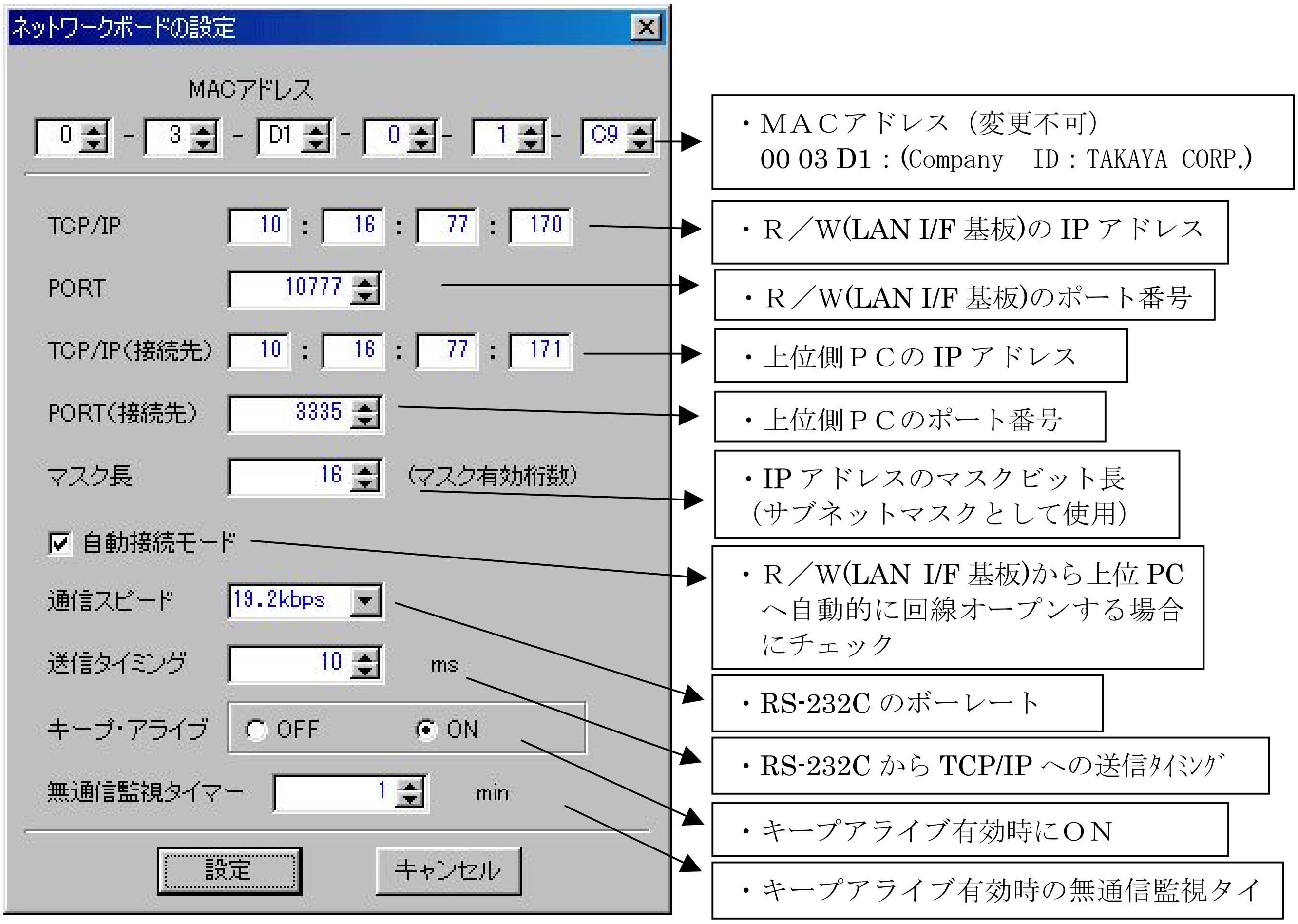
メイン画面の環境より「Telnet先のTCP/IPの設定」メニューを選択すると、以下のＩＰアドレス設定のダイアログが開きます。

（但し、ダイアログ内のＩＰアドレス：工場出荷時のデフォルト値）

上位側からＴＥＬＮＥＴによる接続先ＩＰアドレスを設定します。

（３）ネットワークの設定画面

メイン画面の検査＆チェックより「設定確認＆設定(telnet)」メニューを選択すると、以下の設定のダイアログが開きます。



（４）設定方法

ＮＥＴＢＳｅｔ１によりＴＲ３シリーズＲ／W（LAN I/F 基板）へ設定する手順を以下で説明します。

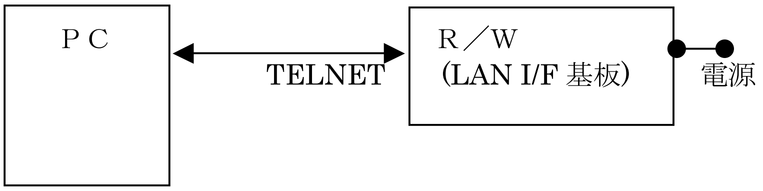
１）Ｒ／W（LAN I/F 基板）の IP アドレスがわかっている場合

手順 1. ＰＣのＩＰアドレスを、Ｒ／W（LAN I/F 基板）に設定したＩＰアドレスに変更します。
出荷時設定の IP アドレスを選択する時、PC の設定は、IP アドレス「10.16.77.171」、サブネットマスク「255.255.0.0」を使用します。
ＰＣ側の設定方法は、後述の「補足説明、(1)ＰＣのＩＰアドレス変更方法」を参照ください。

参考）出荷時の設定値

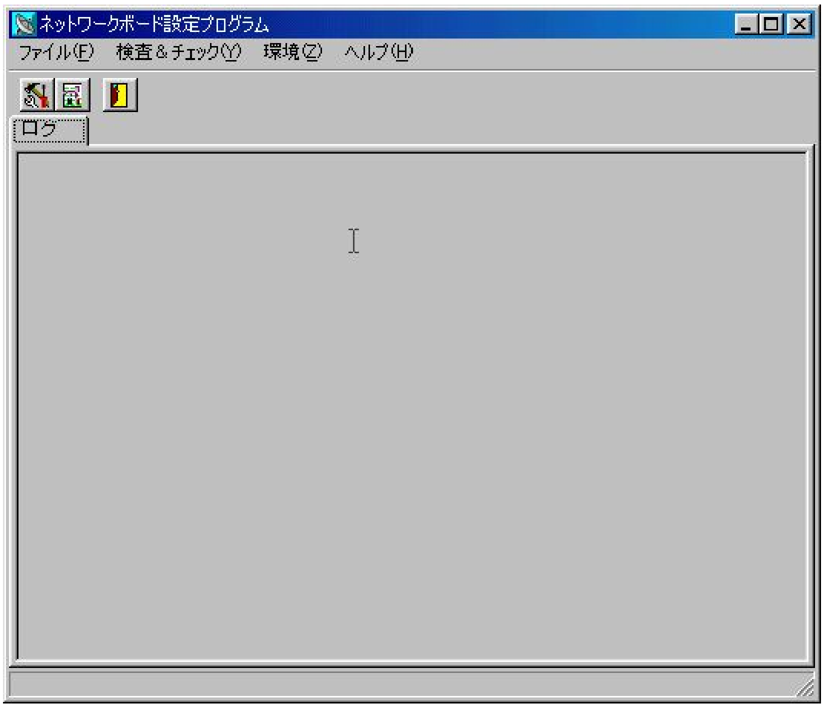
Ｒ／W（LAN I/F 基板）の IP アドレス	: 10.16.77.170 （出荷時）
ＰＣの IP アドレス	: 10.16.77.171
ＰＣのマスク長	: 16 （255.255.0.0）

手順２．ＰＣとＲ／W（LAN I/F 基板）をケーブルで接続します。
ＰＣとＲ／W（LAN I/F 基板）をＬＡＮケーブルで接続し、電源を入れてください。
（使用ＬＡＮケーブル：ＨＵＢ経由でＰＣ接続する場合、ストレートケーブル
ダイレクトにＰＣ接続する場合、クロスケーブル　　）

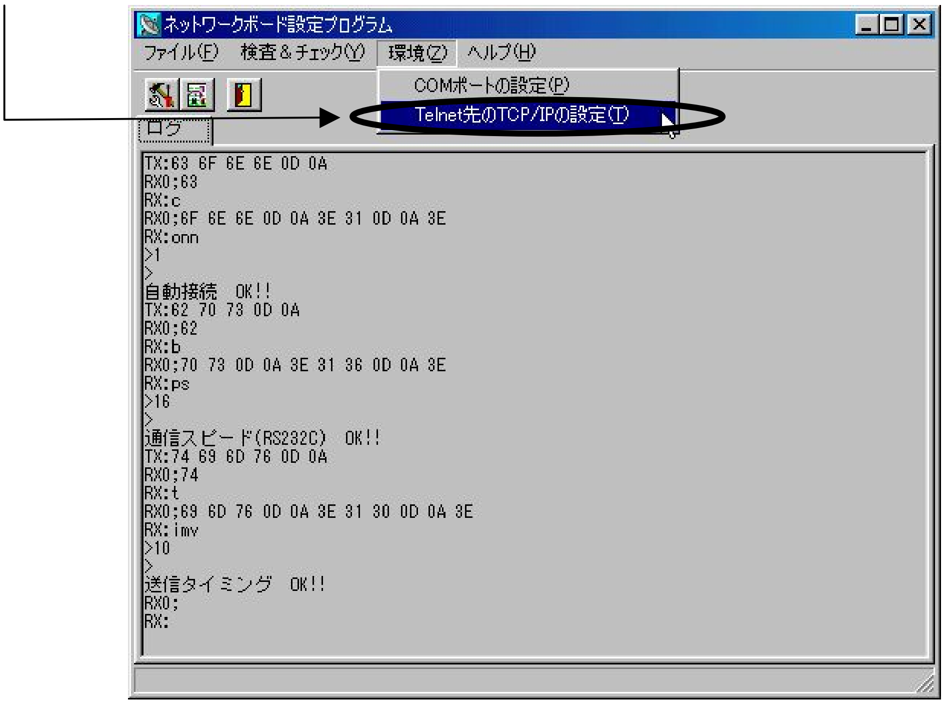


（設定時の接続例）

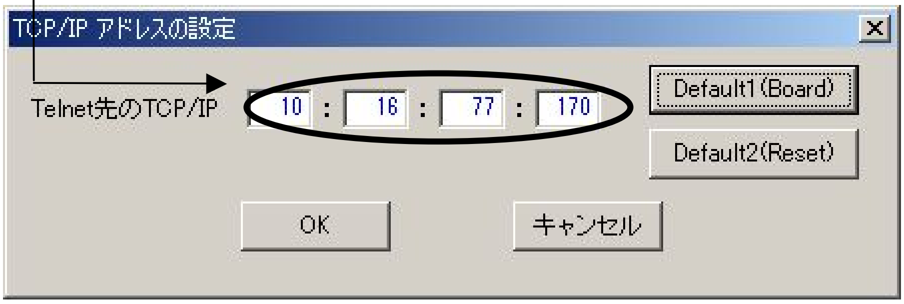
手順３．「ＮＥＴＢＳｅｔ１．ｅｘｅ」を実行します。



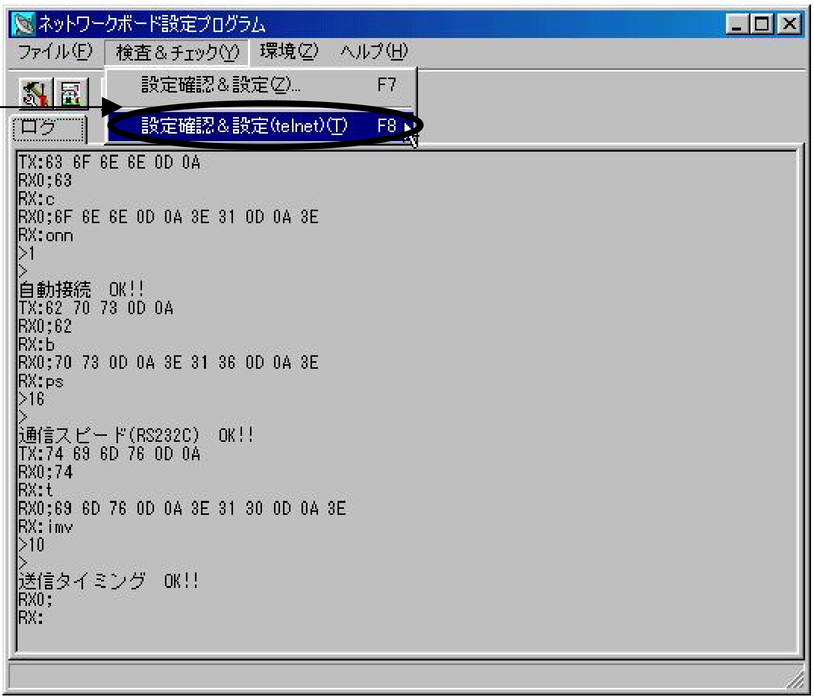
手順４．ＴＥＬＮＥＴによる接続先Ｒ／W(LAN I/F 基板)のＩＰアドレスを設定します。



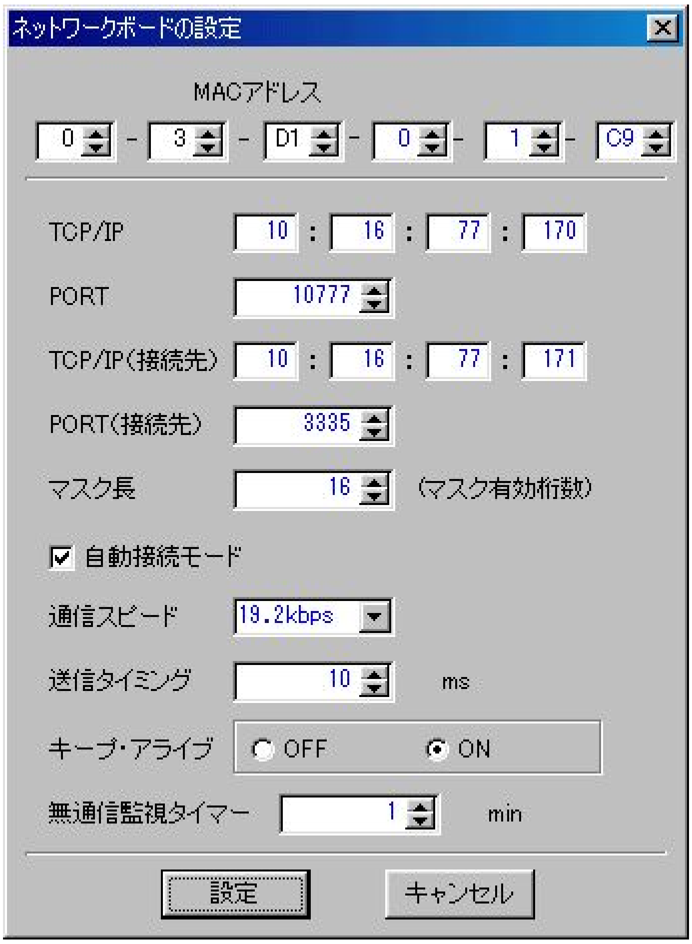
手順５．ＴＥＬＮＥＴによる接続先Ｒ／W(LAN I/F 基板)のＩＰアドレスを入力します。



手順６．Ｒ／W(LAN I/F 基板)の設定をします。



手順７．Ｒ／W(LAN I/F 基板)の設定情報を入力します。



手順８．設定内容を有効にする為、Ｒ／W(LAN I/F 基板)の電源を入れ直してください。

○参考（設定時のトラブル対応例）

症状	対策
ソフトによる設定ができない	下記の項目を再度確認ください。 1)ＬＡＮケーブルの確認 ・ケーブルのコネクタ部の接触 ・ケーブルタイプの確認 ＨＵＢ経由でＰＣと接続する場合：ストレートケーブル ダイレクトにＰＣと接続する場合：クロスケーブル 2)Ｒ／Ｗ(LAN I/F基板)のＩＰアドレスを確認 3)ＰＣのＩＰアドレスを確認 4)ＰＣとＲ／Ｗ(LAN I/F基板)のマスク長を確認 （マスク長：サブネットマスクとして使用します。マスク長は、ＩＰアドレスに含まれるネットワークアドレスの最上位側からマスクする範囲をビット長で指定します。） 5) ＨＵＢの電源ＯＮを確認 6) ＰＣのファイヤウオールによる障害が無いことを確認 Ｒ／Ｗ(LAN I/F基板)のＩＰアドレスが不明な場合、 次項の設定方法の２）を試してください。
ＰＩＮＧの応答がない	下記の項目を再度確認ください。 1)Ｒ／Ｗ(LAN I/F基板)のＩＰアドレスを確認 2)ＰＣのＩＰアドレスを確認 3)ＰＣとＲ／Ｗ(LAN I/F基板)のマスク長を確認

２）Ｒ／Ｗ（LAN I/F基板）のIPアドレスがわからない場合

手順１．Ｒ／Ｗ（LAN I/F 基板）の IP アドレスを以下のデフォルト値に設定します。
Ｒ／Ｗの場合は、内蔵されているＬＡＮ Ｉ／Ｆ基板が見えるようにケースを開けます。
デフォルト値を有効にする為には、ＬＡＮ Ｉ／Ｆ基板の DIPSW(SW1)を、(1=ON、2=OFF)に設定します。
デフォルトのＩＰアドレスは、「192.168.0.1」を使用します。

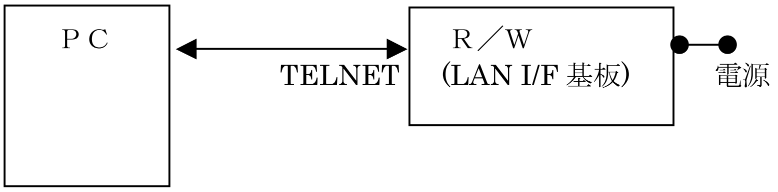
参考１）デフォルトの設定値
Ｒ／Ｗ（LAN I/F 基板）の IP アドレス　：192.168.0.1 （デフォルト）
Ｒ／Ｗ（LAN I/F 基板）のマスク長　　　：24 （255.255.255.0）

参考２）電源ＯＮのまま DIPSW(SW1)を変更した時は、ＳＷの変更を有効にする為、一度Ｒ／Ｗ（LAN I/F 基板）の電源を入れ直すか又は、リセットスイッチ(SW3)を押してください。

手順２．ＰＣのＩＰアドレスとＲ／Ｗ（LAN I/F 基板）の接続先ＩＰアドレスを設定します。
ＰＣのＩＰアドレスは、「192.168.0.1」以外の「192.168.0.XX」を設定し、サブネットマスクは、「255.255.255.0」を設定します。
ＰＣ側の設定方法は、後述の「補足説明、(1)ＰＣのＩＰアドレス変更方法」を参照ください。

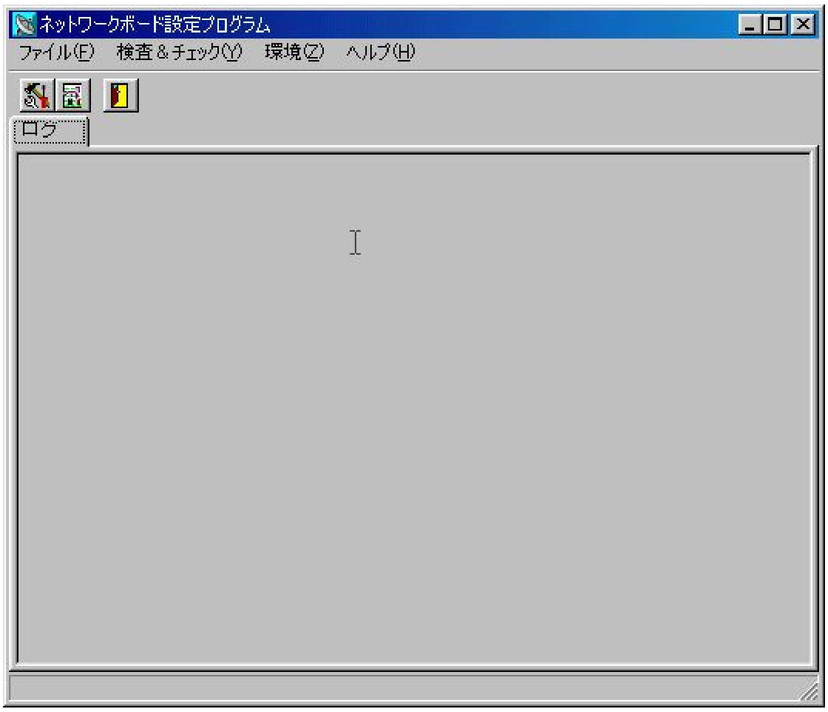
手順３．ＰＣとＲ／Ｗ（LAN I/F 基板）をケーブルで接続します。
ＰＣとＲ／Ｗ（LAN I/F 基板）をＬＡＮケーブルで接続し、電源を入れてください。

（使用ＬＡＮケーブル：ＨＵＢ経由でＰＣ接続する場合、ストレートケーブル
ダイレクトにＰＣ接続する場合、クロスケーブル　）

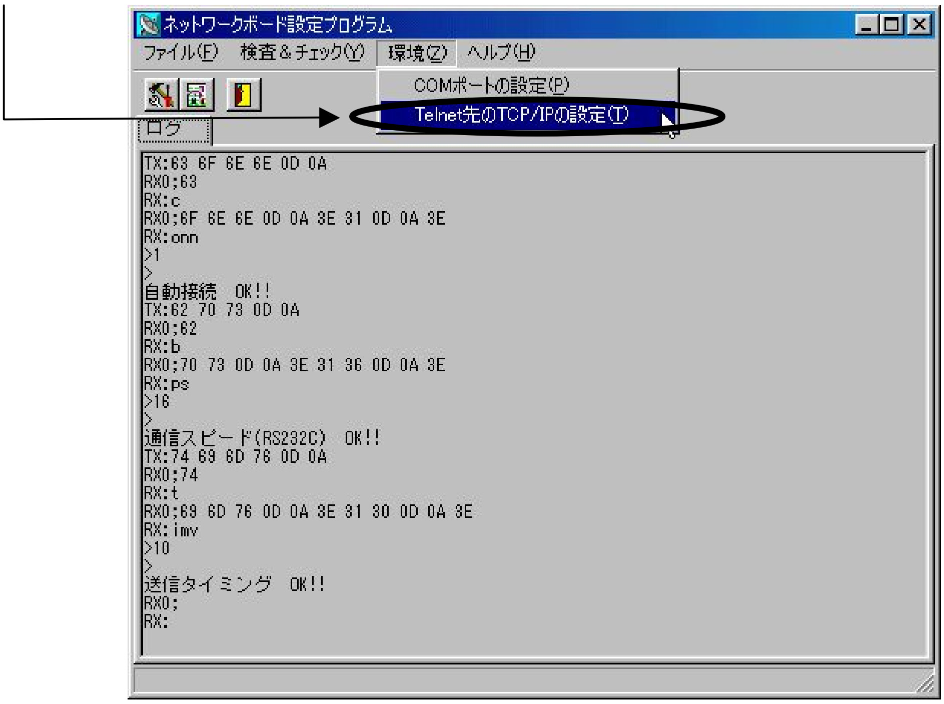


（設定時の接続例）

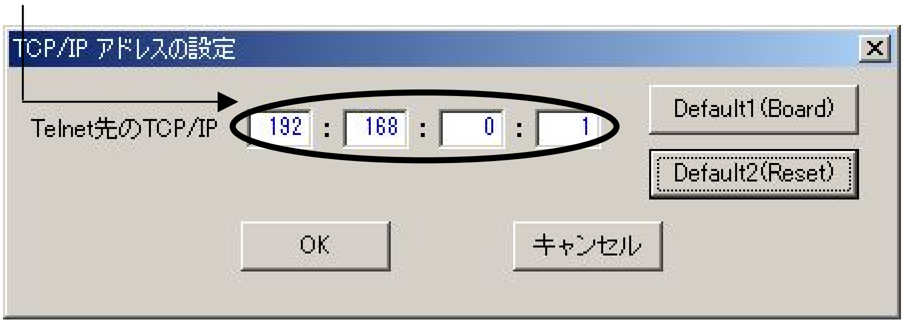
手順４．「ＮＥＴＢＳｅｔ１．ｅｘｅ」を実行します。



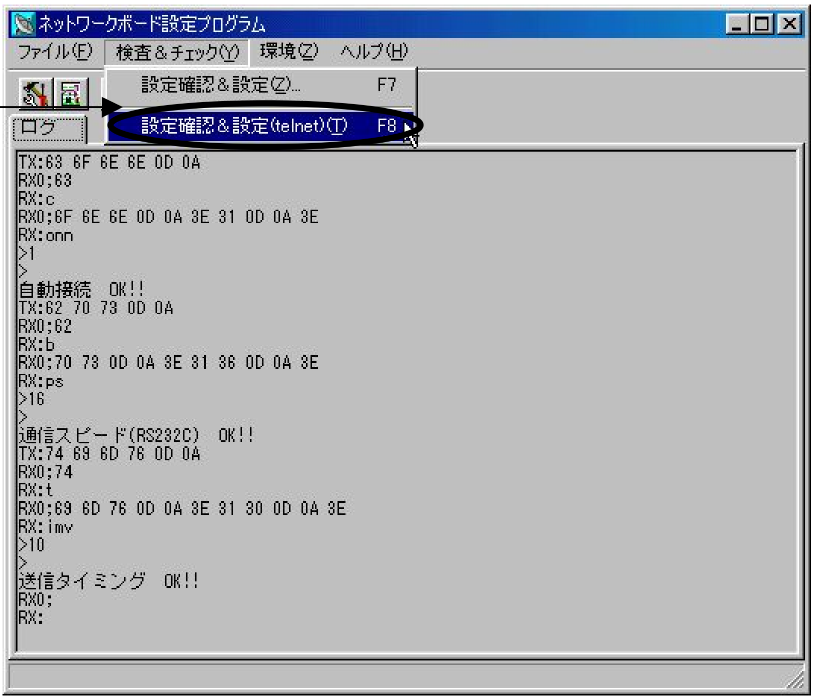
手順５．ＴＥＬＮＥＴによる接続先Ｒ／Ｗ（LAN I/F 基板）のＩＰアドレスを設定します。



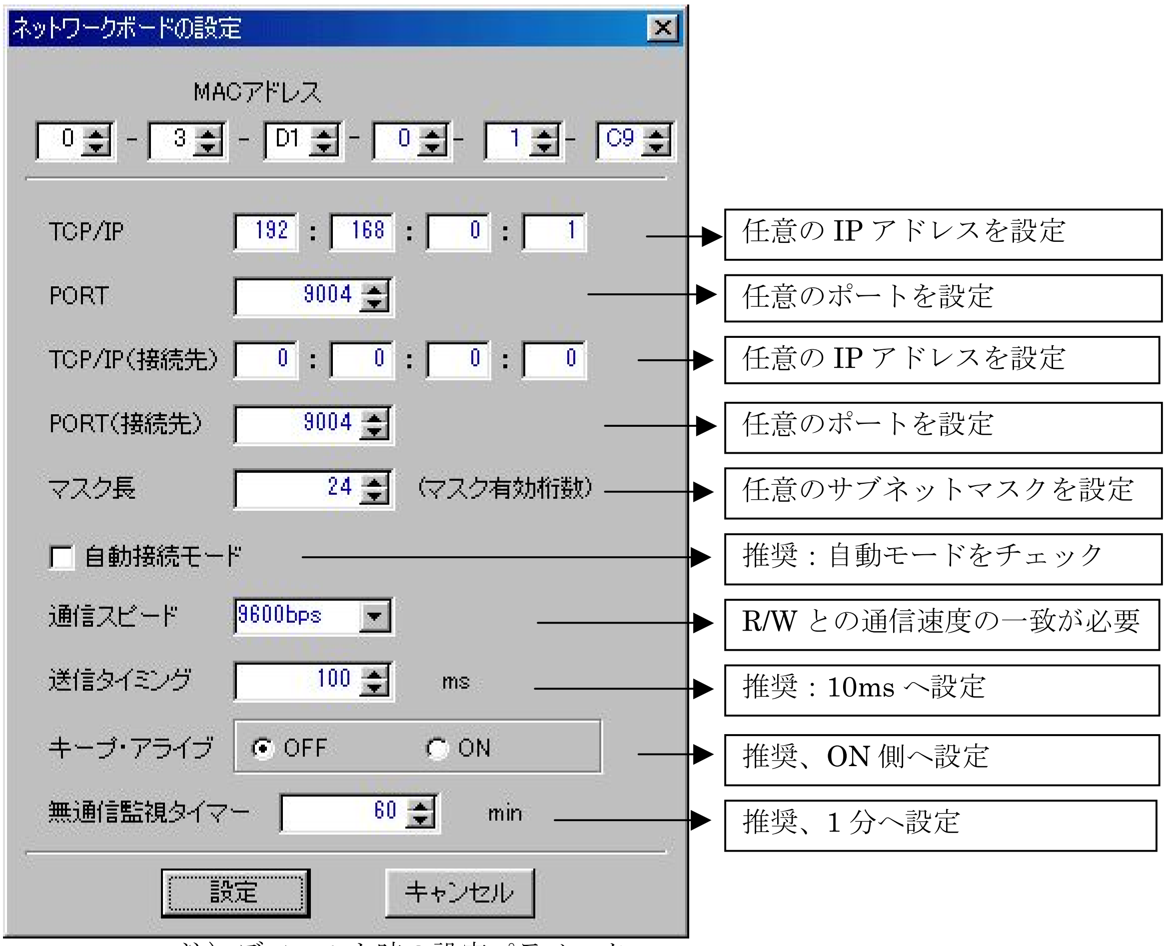
手順６．ＴＥＬＮＥＴによる接続先Ｒ／Ｗ（LAN I/F 基板）のＩＰアドレスを入力します。



手順７．Ｒ／Ｗ（LAN I/F 基板）の設定をします。



手順８．Ｒ／Ｗ（LAN I/F 基板）の設定値を入力し直します。



注）デフォルト時の設定パラメータ

手順９.設定内容を有効にする為､Ｒ／Ｗ内部のＬＡＮ　Ｉ／Ｆ基板の DIPSW(SW1)は､(1=ON､2=ON)へ変更します。

注意）電源ＯＮのまま DIPSW(SW1)を変更した時は、ＳＷの変更を有効にする為、一度Ｒ／Ｗ（LAN I/F 基板）の電源を入れ直すか又は、リセットスイッチ(SW3)を押してください。

また、この方法により、ＬＡＮのＩＰアドレスやポート番号を初期化した場合は、通信スピードについては、再度ご確認ください。初期化した後は、必ず 9600bps になりますので、19200bps などに変更しＲ／Ｗモジュール側の通信スピードと一致するスピードでご使用ください。
（Ｒ／Ｗモジュールの出荷時のシリアル通信スピード：19200bps）

○参考（設定時のトラブル対応例）

症状	対策
ソフトでの設定ができない	下記の項目を再度確認ください。 1)ＬＡＮケーブルの確認 ・ケーブルのコネクタ部の接触 ・ケーブルタイプの確認 ＨＵＢ経由でＰＣと接続する場合：ストレートケーブル ダイレクトにＰＣと接続する場合：クロスケーブル 2)Ｒ／Ｗ(LAN I/F基板)のＩＰアドレス「192.168.0.1」を確認 3)ＰＣのＩＰアドレス「192.168.0.XX」を確認 4)ＰＣとＲ／Ｗ(LAN I/F基板)のマスク長「２４(255.255.255.0)」を確認 （マスク長：サブネットマスクとして使用します。マスク長は、ＩＰアドレスに含まれるネットワークアドレスを最上位側からマスクする範囲をビット長で指定します。） 5) ＨＵＢの電源ＯＮを確認 6) ＰＣのファイヤウオールによる障害が無いことを確認
ＰＩＮＧの応答がない	下記の項目を再度確認ください。 1)Ｒ／Ｗ(LAN I/F基板)のＩＰアドレスを確認 2)ＰＣのＩＰアドレスを確認 3)ＰＣとＲ／Ｗ(LAN I/F基板)のマスク長を確認

［６］注意事項

（１）電源 OFF について

R／W（LAN I/F 基板）の電源をＯＦＦします。

（２）動作中のＤＩＰＳＷ変更やＬＡＮケーブル抜差しについて

データの通信不良や消失が予想される為､接続先や動作使用状況に影響がでない事を確認してから変更を行ってください。

また、R／W（LAN I/F 基板）のＴＣＰ／ＩＰとＴＥＬＮＥＴは同時に使用する事は出来ませんのでご注意ください。

（３）接続先ＰＣのＬＡＮボード交換時の注意点

R／W（LAN I/F 基板）では、接続策の MAC アドレスとＩＰアドレスを使用して通信を行いっています。接続先ＰＣのＬＡＮボードの交換時に、同じ IP アドレスを使用した場合（同一ＩＰアドレスでＭＡＣアドレスが変更となった場合)、R／W（LAN I/F 基板）との通信が出来なくなることがあります。

その場合は、R／W（LAN I/F 基板）の電源を一度入れ直すか、接続先ＰＣからR／W（LAN I/F 基板）に対してＰｉｎｇを送信をしてください。その後通信出来るようになります。

尚、接続先のＰＣを交換し、同じＩＰアドレスに設定した場合も同様の現象となることがありますのでご注意ください。

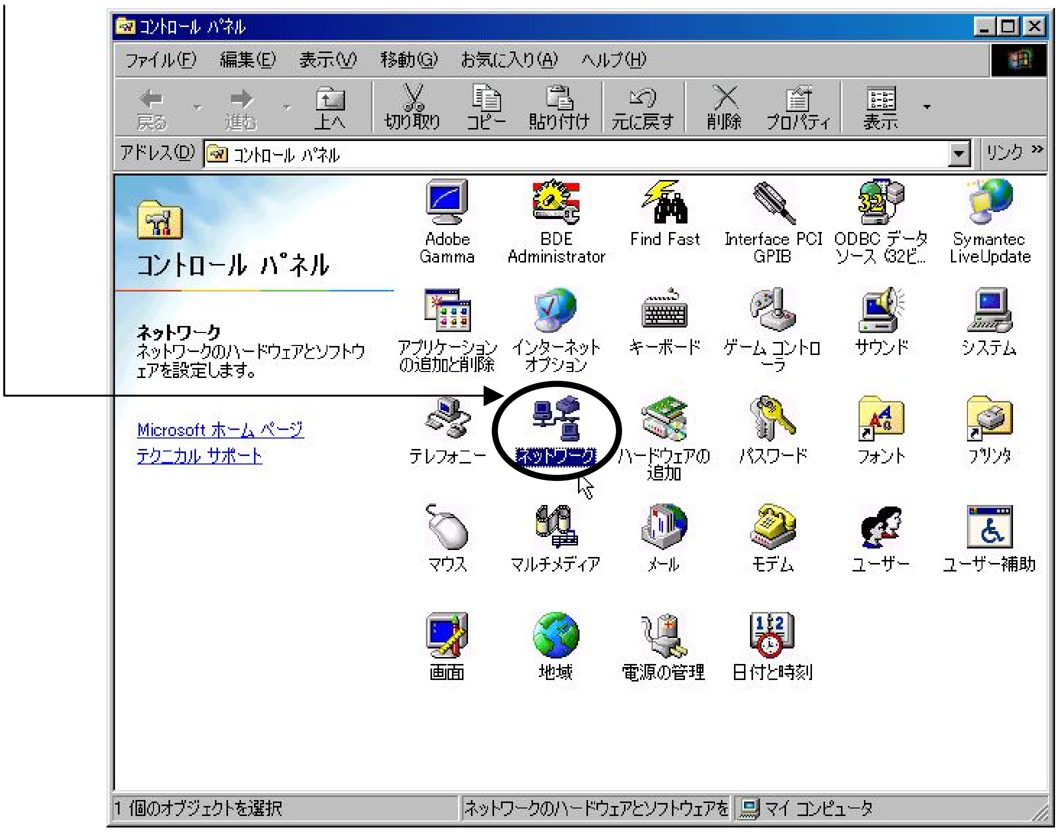
［７］補足説明

（１）ＰＣのＩＰアドレス変更方法

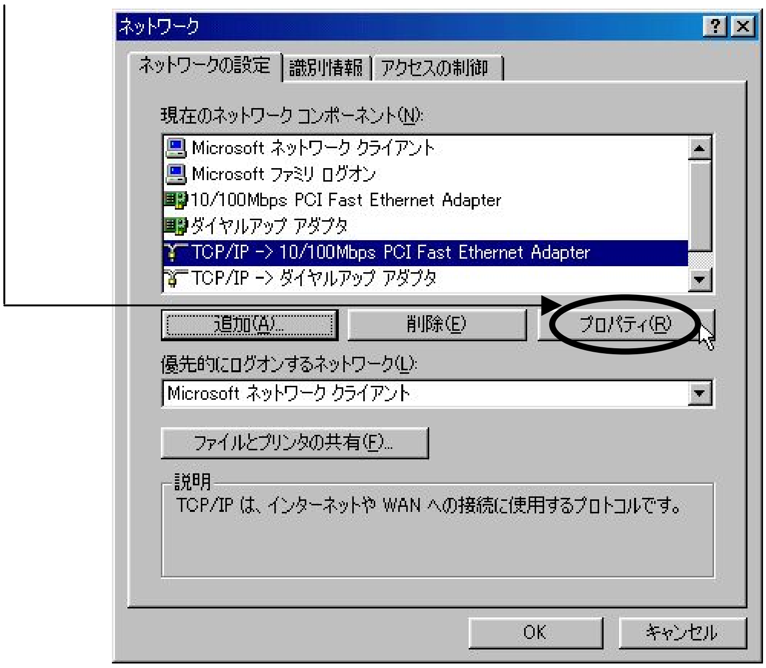
１）Windows95/98 の場合

手順１．[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

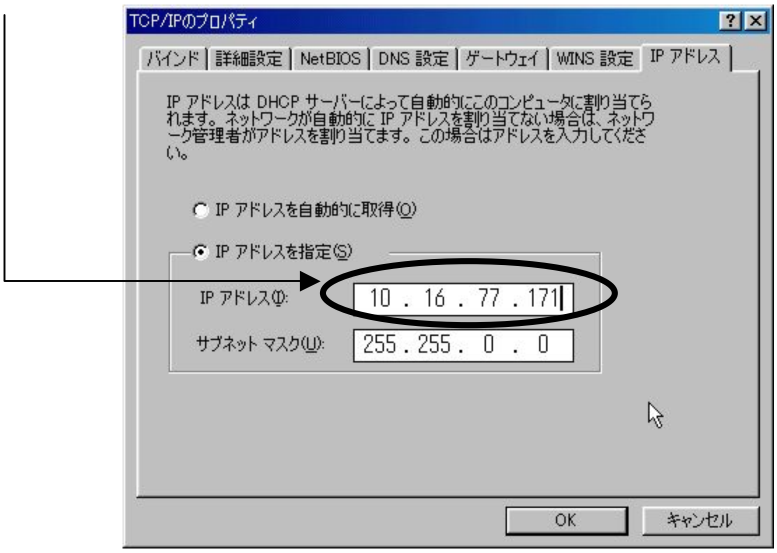
手順２．[コントロールパネル]内の[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



手順３．[ネットワーク]内の[ネットワークの設定]-[プロパティ]をクリックします。



手順４．[TCP/IP プロパティ]内の[IP アドレス]のＩＰアドレスを入力します。

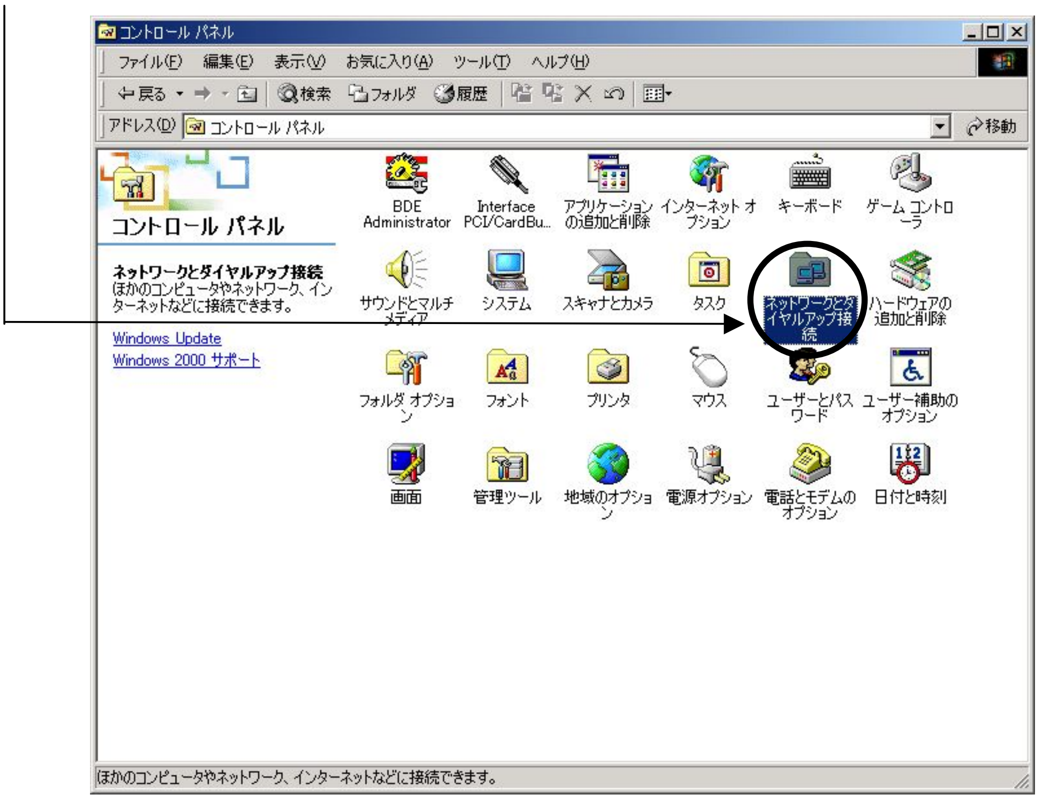


手順５．[ＯＫ]の設定終了後、メッセージにしたがってＰＣを再起動すると、設定が完了します。

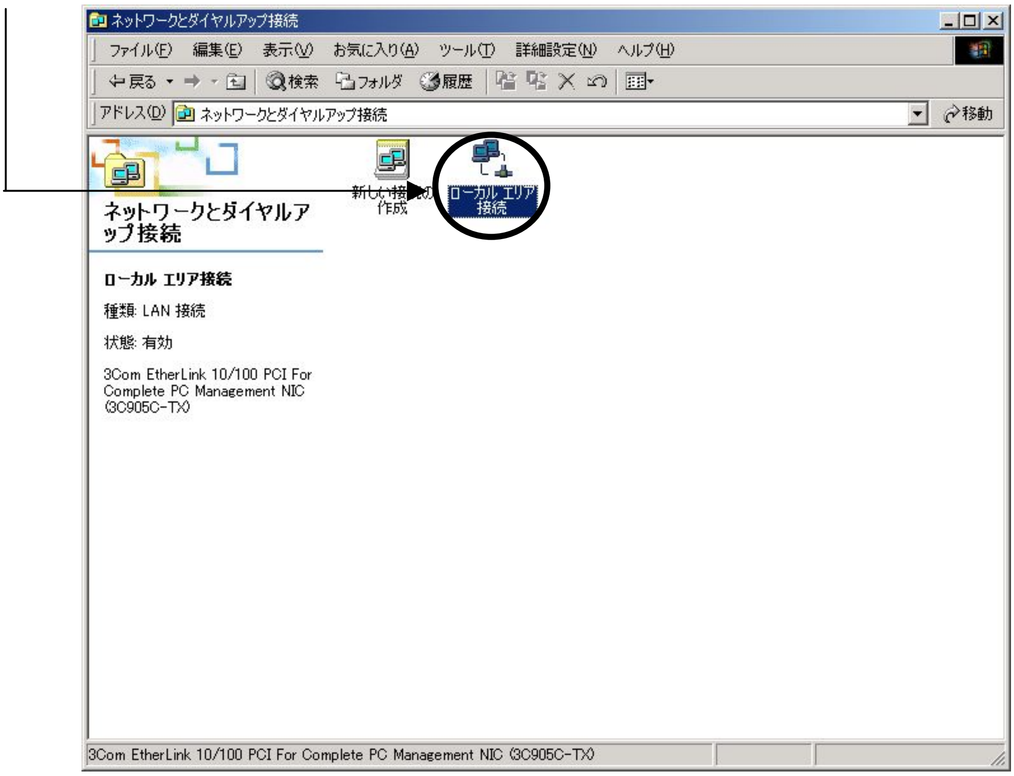
２）Windows2000 の場合

手順１．[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

手順２．[コントロールパネル]内の[ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをダブルクリックします。

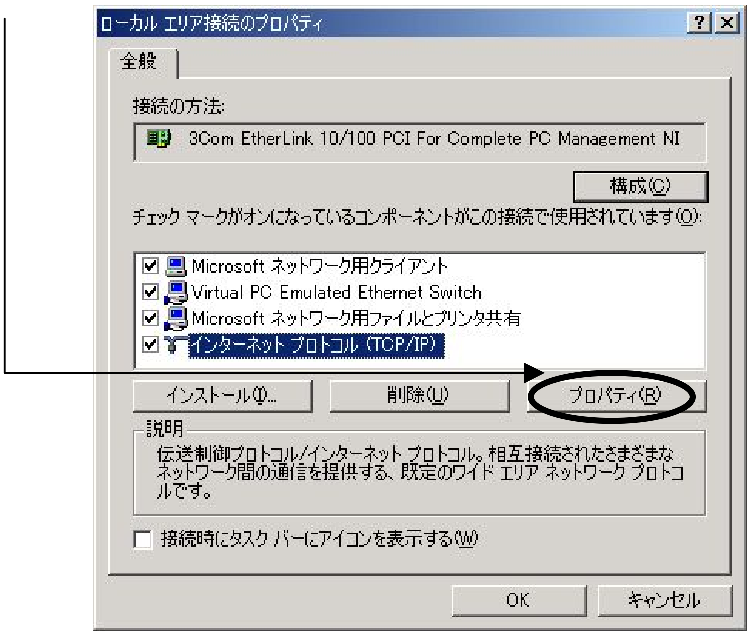


手順３．[ネットワークとダイヤルアップ接続]内の[ローカルエリア接続]アイコンをダブルクリックします。

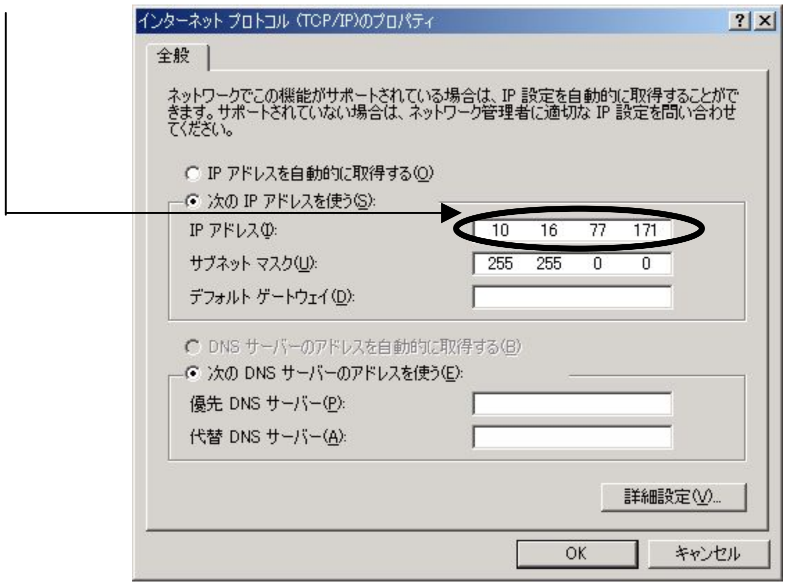


手順４．[ローカルエリア接続]内の[プロパティ]をクリックします。

手順５．[ローカルエリア接続]内の[プロパティ]をクリックします。



手順６．[プロパティ]内のＩＰアドレスを入力します。



手順７．[ＯＫ]の設定終了後、メッセージにしたがってＰＣを再起動すると、設定が完了します。

変更履歴

ＮＥＴＢＳｅｔ１　取扱説明書

バージョンＮｏ	日付	内容
1.00	2003.11.1	初版
1.01	2005.01.20	記述内容一部修正
1.02	2005.03.29	記述内容一部修正
1.03	2006.02.16	記述内容一部修正 　キープアライブの関連項目として以下を修正 　・[3]設定項目について　項目の追加 　・[5]の(3)ネットワークの設定画面、画面の差替え 　・[5]の(4)設定方法、画面の差替え
1.04	2008.4.17	記述内容一部修正 　メニュー画面の更新

タカヤ株式会社　ＲＦ事業推進部
［URL］http://www.takaya.co.jp/
[Mail]　rfid@takaya.co.jp

仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。